

マンガ：
篠原幸雄





よわむし







あたしに
むかえにこいって
いうつもりかい!!
あまつたれんじや
ないよっ!!

さあさあ!!
ぬぐんだよ
ぐずだね!!

こんなに
よこして

あらうん
だって
たいへんなん
だからね

あたしや
仕立物の仕事
いそがしいん
だよ!!

だいたい
おまえの
おやじが
灯台守りなんか
やってるから
いけないんだよ

とうちゃん
わるく
ないよ……

とうちゃん
船をまもって
るんだ
えらいんだよ……

へええ
おまえを
あたしにおしつけて
ひとりのうのと
灯台守りなんか
やってる
のが
えらい
の
かい?

ろくに金も
おこつて
こないでさ!!

ギョ

じぶんで
あらいな
きがえなんか
ないんだから
よ!!

おまえの
母親が
死んだときに
灯台守りなんか
やめて
サラリーマンにでも
なりやよかつたのに

6
姉のあたしは
ひとりもんなのを
いいことに
こんなガキ
おいてき
やがって
さ!!

ギョ
ギョ



さむいよ〜
おばさん!!



ごめんなさい
なかに
いれてよ
……

おなか
すいたよ〜

うるさいね
ぎやーぎやー
わめくんじやないよ
まわりにうるさい
だろ!!



あんまり
うるさく
すると
ぼんごはんは
ぬきにするから
ぬ!!
いいかい!!



ん?
きゆうに
しずかに
なったじゃ
ないの……



あれ?
いないじゃ
ないの



ガキのくせして
家出のまねかい
なまいき
だね

どうせ
すぐに
かえんだろ

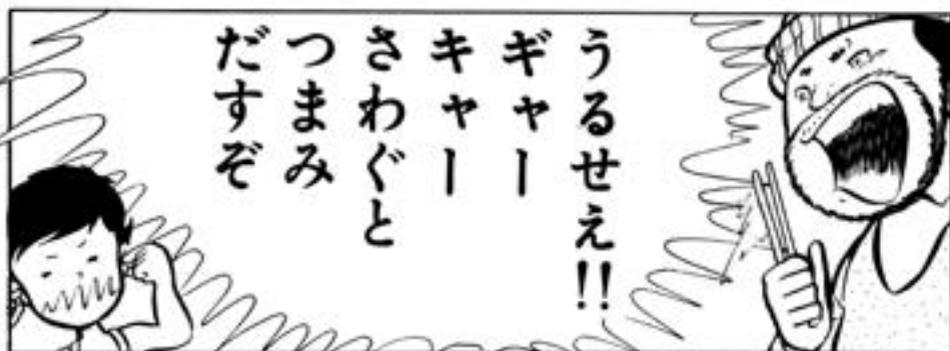




ほく 一回だけ
とうちゃんといっしょに
とうちゃんの灯台に
いったとあるんだ……



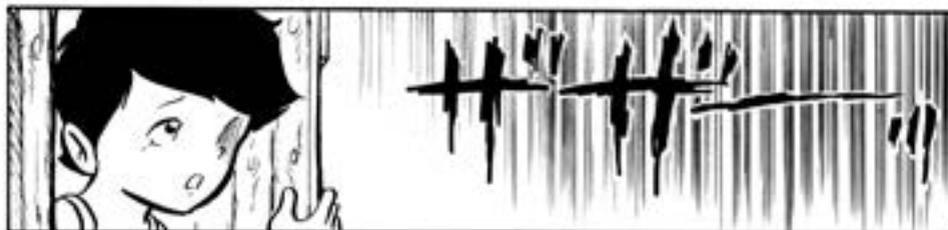




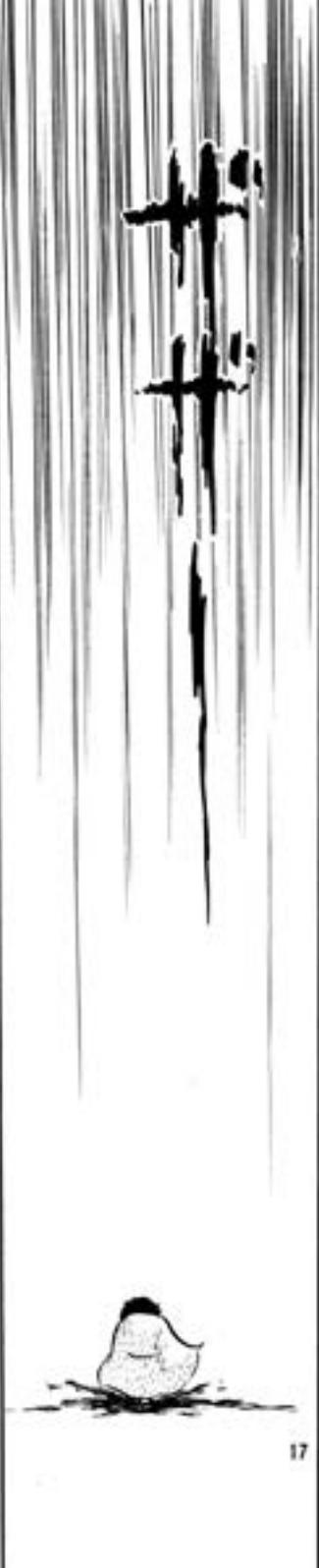














船はこの光を
めぐるしに
航海してるんだ
こういう
あらしの時
こそこの光を
守らなくてどう
する!!



わたしは
灯台守りだ!!
わたしの
仕事はこの光を
まもること
なんだ——!!

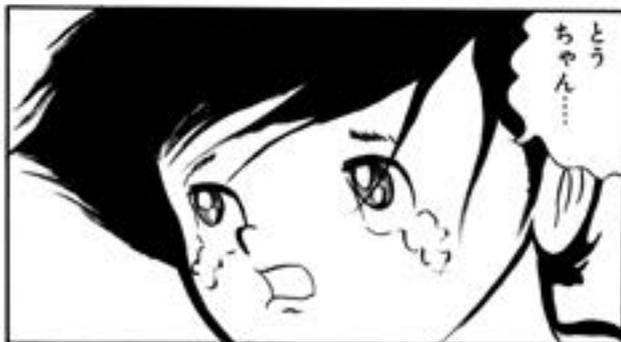


はやく
のって
ください!!
木村さ〜ん
むかえにきま
した
これいじょう
ここにいと
きけんです!!

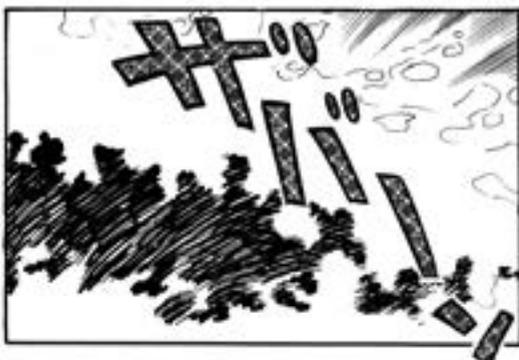


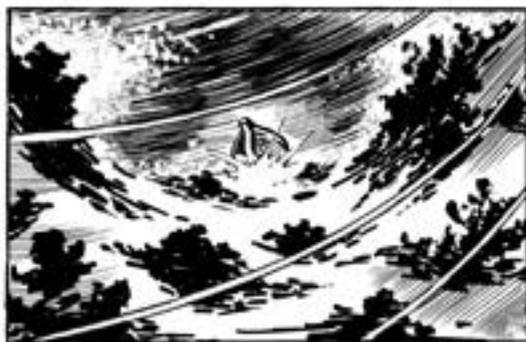
木村さ〜ん!!
これいじょう
ここにいと
おれたちの
ほうがあぶない!!
もどろろ!!















木村
さん

とうちゃん
……
!!



とうちゃんだ
あそこに
とうちゃんが!!



あかり
あかりを
……
電源
を……

26



木村
さん

とうちゃん
!!





